



Fujieda City 60th Anniversary
藤枝市制施行60周年
こども☆みらい☆輝くまち
For the future, For the children

元気なまち 藤枝

平成26年度
当初予算・組織改編(案)の概要



平成26年2月

基本理念

「選ばれるまち ふじえだ」づくり

第5次藤枝市総合計画

「ふじえだ2020グランドデザイン スマイルプラン」

元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる。～

基本方針

- 子どもたちが輝くまち
- 誰もが安心して暮らせるまち
- 皆で協力し合うまち
- 誇りと元気のあるまち

平成26年度 重点方針

- ◆第2期市長マニフェストの確実な実施
- ◆第5次総合計画に掲げる目標の達成に資する取り組みの強化、前期の総仕上げに向けた取り組みの強化
- ◆「ひと＝活力」を戦略的に藤枝に呼び込む施策の実施
- ◆庁内分権、コスト意識の徹底、人財育成・確保など、地方の時代に対応できる基礎自治体づくり

平成26年度の重点戦略

1 安全安心なまちをつくる

- ◎危機管理体制の充実
- ◎防犯・防災対策の推進
- ◎交通安全の推進

2 まちの“魅力”をつくる

- ◎4つのKの推進
- ◎子育て支援の充実
- ◎安定的な医療の提供
- ◎定住促進への取り組み
- ◎来訪・消費のきっかけづくり

平成26年度の重点戦略

3 人と人、都市と都市の

“つながり”をつくる

- ◎市民活動の促進
- ◎連携、交流の促進

4 藤枝の新たな“価値”をつくる

- ◎市内経済の活性化(産業の振興)
- ◎ポテンシャルの向上
- ◎市組織内の「質」の向上

市制施行60周年 (2014年1月1日～2014年12月31日)

・昭和29年1月1日 志太郡藤枝町と西益津村が合併

◎昭和29年3月31日 市制施行(藤枝市の誕生)

6つの町村の配置分合

志太郡藤枝町、青島町、葉梨村、稲葉村、大洲村、高洲村

- ・昭和30年2月25日 志太郡瀬戸谷村を藤枝市に編入
- ・昭和32年4月1日 広幡村を藤枝市に編入
- ・平成21年1月1日 岡部町と合併



1. 当初予算・組織(案)の概要



平成26年度予算の特徴

★1 過去最大の積極型予算！

(448億8,000万円)

★2 市債残高の大幅な縮減！！

(H20比 170億円の縮減)

★3 健全財政で安心市政！！！！

将来負担比率 (H20: 113.6% → H26: 57.3%)

(1) 予算の規模

一般会計 448億 8,000万円

全会計

過去最大!

市民のための
しあわせ(44)の倍返し(88)だ!

44,880百万円

(単位:百万円)

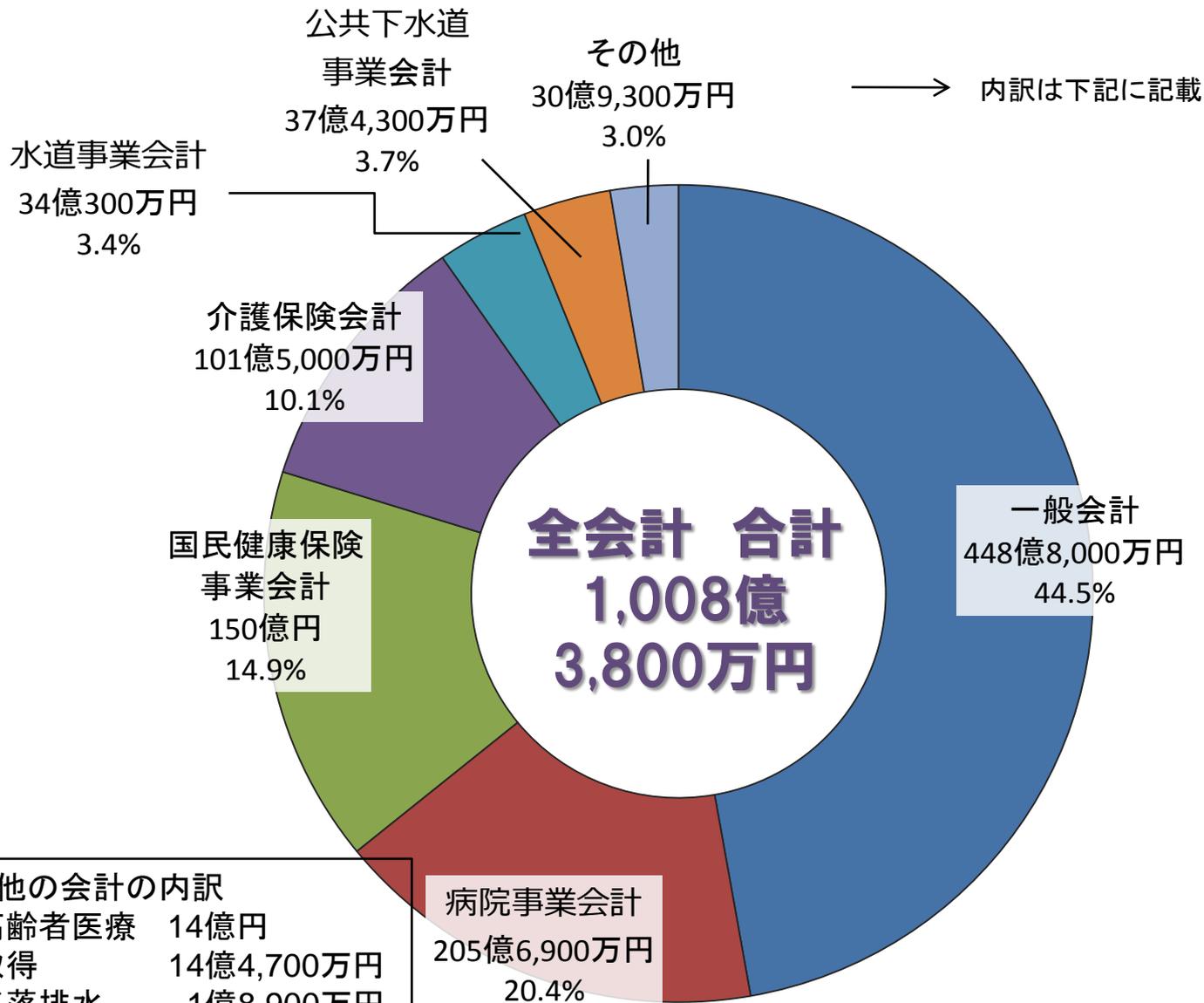
区分	H26当初	H25当初	増減	伸率
一般会計	44,880	43,980	+ 900	+ 2.0%
特別会計	31,986	30,065	+ 1,921	+ 6.4%
企業会計	23,972	19,105	+4,867	+ 25.5%
合計	100,838	93,150	+ 7,688	+ 8.3%

○一般会計・・・地方公共団体の行政運営の基本的な経費を網羅する会計。

○特別会計・・・特定の事業を行うための会計で一般会計と区別して収支を行う。本市では8つの会計がある。

○企業会計・・・地方公営企業法が適用される会計で原則独立採算。
本市では病院事業と水道事業の2つ。

平成26年度 会計別予算構成

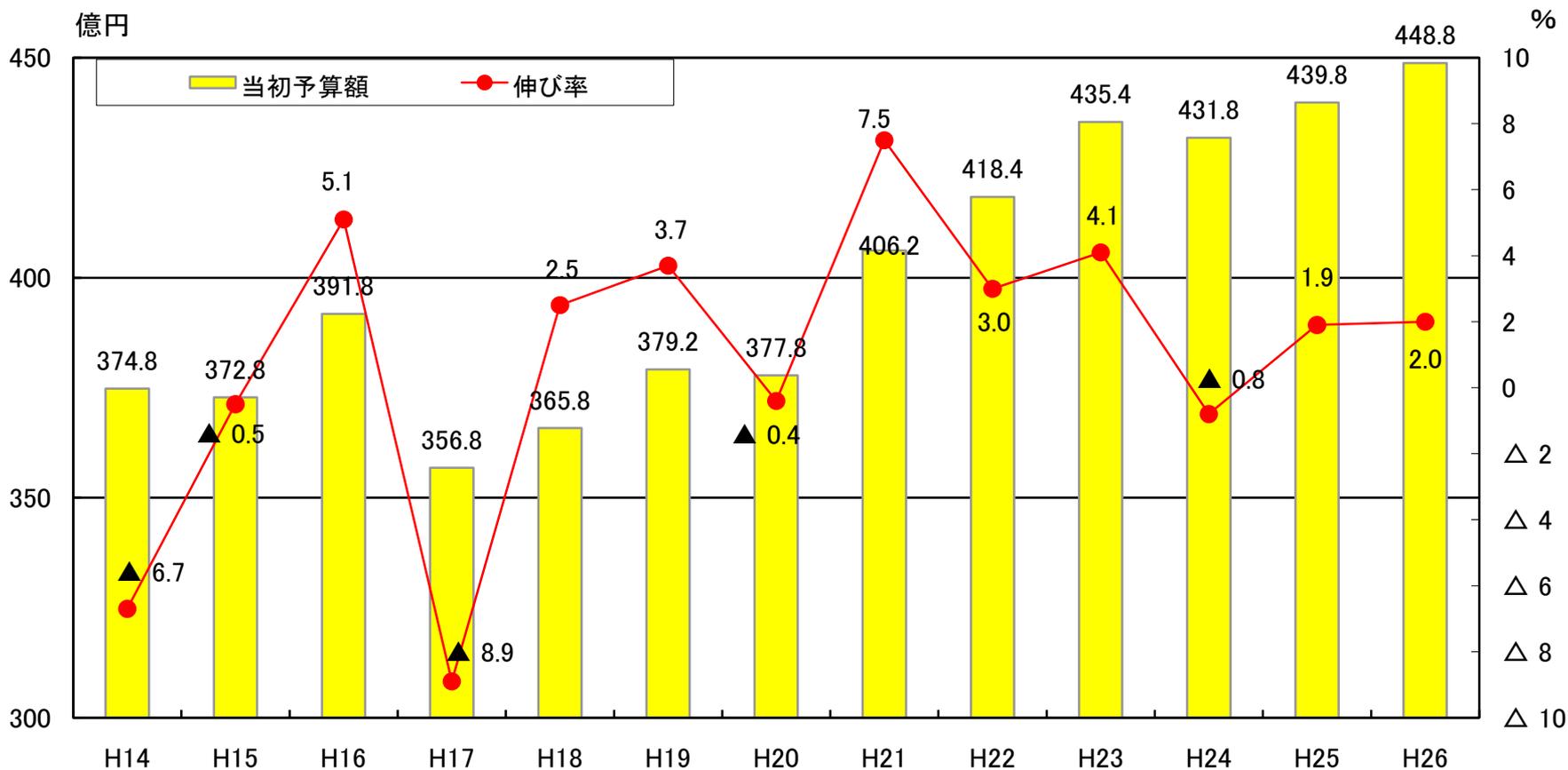


◎その他の会計の内訳

後期高齢者医療	14億円
土地取得	14億4,700万円
農業集落排水	1億8,900万円
簡易水道	3,300万円
駐車場	2,400万円

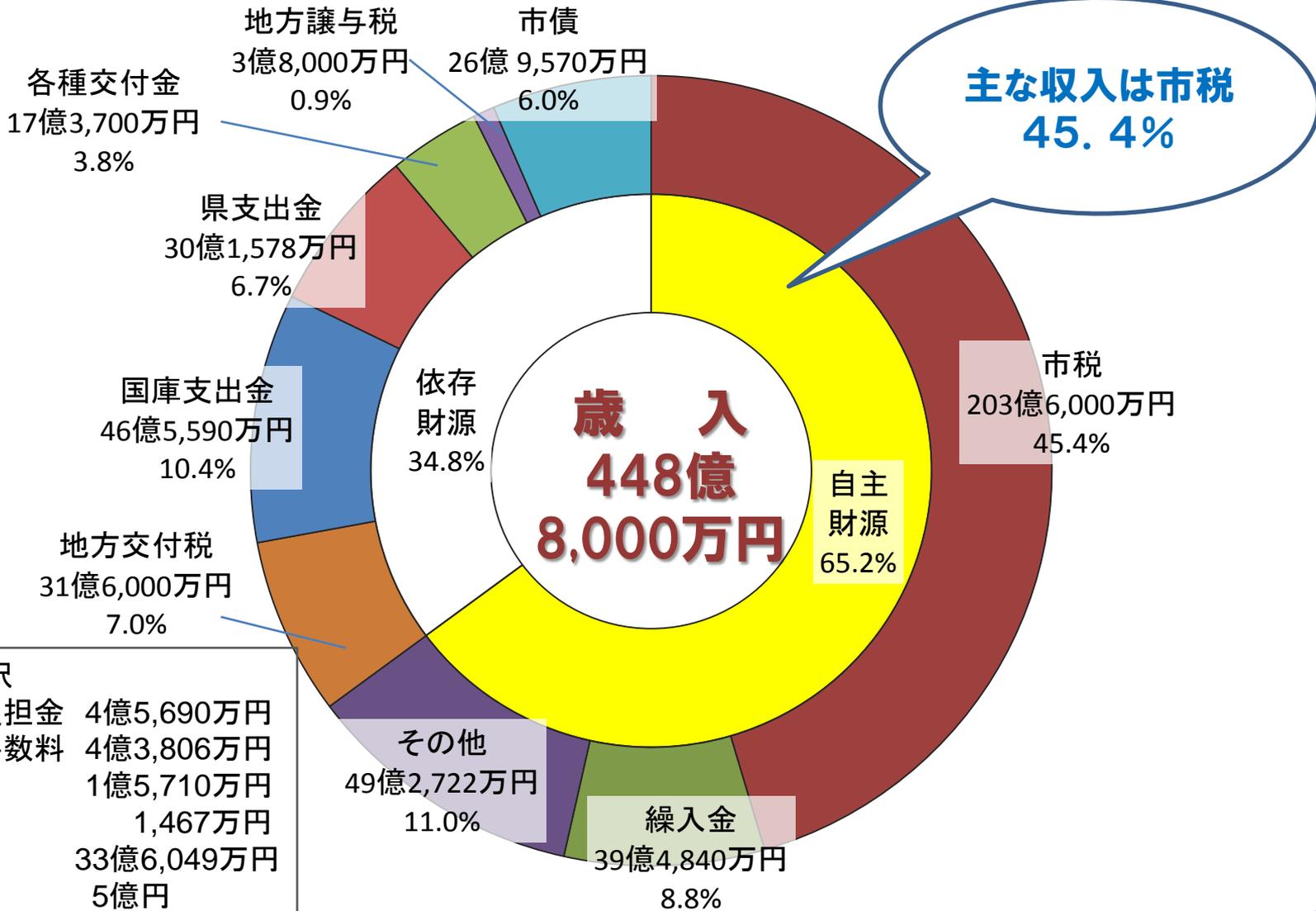
(2) 一般会計予算額の推移

市民サービスの充実のため
過去最大の昨年度を更に上回る編成！ 伸び率+2.0%



(3) 歳入の状況

◆平成26年度 一般会計 歳入予算内訳



※ 増減は対前年度当初予算比較

◆ 主な歳入予算の増減要因

市 税	203億6,000万円	+3億8,000万円	+ 1.9%
	家屋の新築、増築の増加に伴う固定資産税の増		
地方交付税	31億6,000万円	▲ 3,000万円	▲ 0.9%
	国の地方財政計画（通常収支分▲0.9%）相当分の減		
臨時財政対策債 （実質的な地方交付税）	19億8,000万円	▲2億2,000万円	▲ 10.0%
	国の地方財政計画（通常収支分）に基づく減		
利子割交付金等 各種交付金	17億3,700万円	+1億1,600万円	+7.2%
	国の地方財政計画に基づく増		
国庫支出金	46億5,590万円	+ 1億7,290万円	+ 3.9%
	民生費国庫負担金の増、社会資本整備総合交付金の増		
県支出金	30億1,578万円	+ 4,923万円	+ 1.7%
	認定子ども園整備補助金の減、強い農業づくり補助金の増		
繰 入 金	39億4,840万円	+ 3億9,950万円	+ 11.3%
	財政調整基金繰入金の増、土地開発基金の増		
市 債 （臨時財政対策債除く）	7億1,570万円	+8,790万円	+14.0%
	緊急防災・減債事業債の増 等		
その他 ※	53億722万円	▲ 5,554万円	▲ 1.0%
	土地売却収入の減 等		

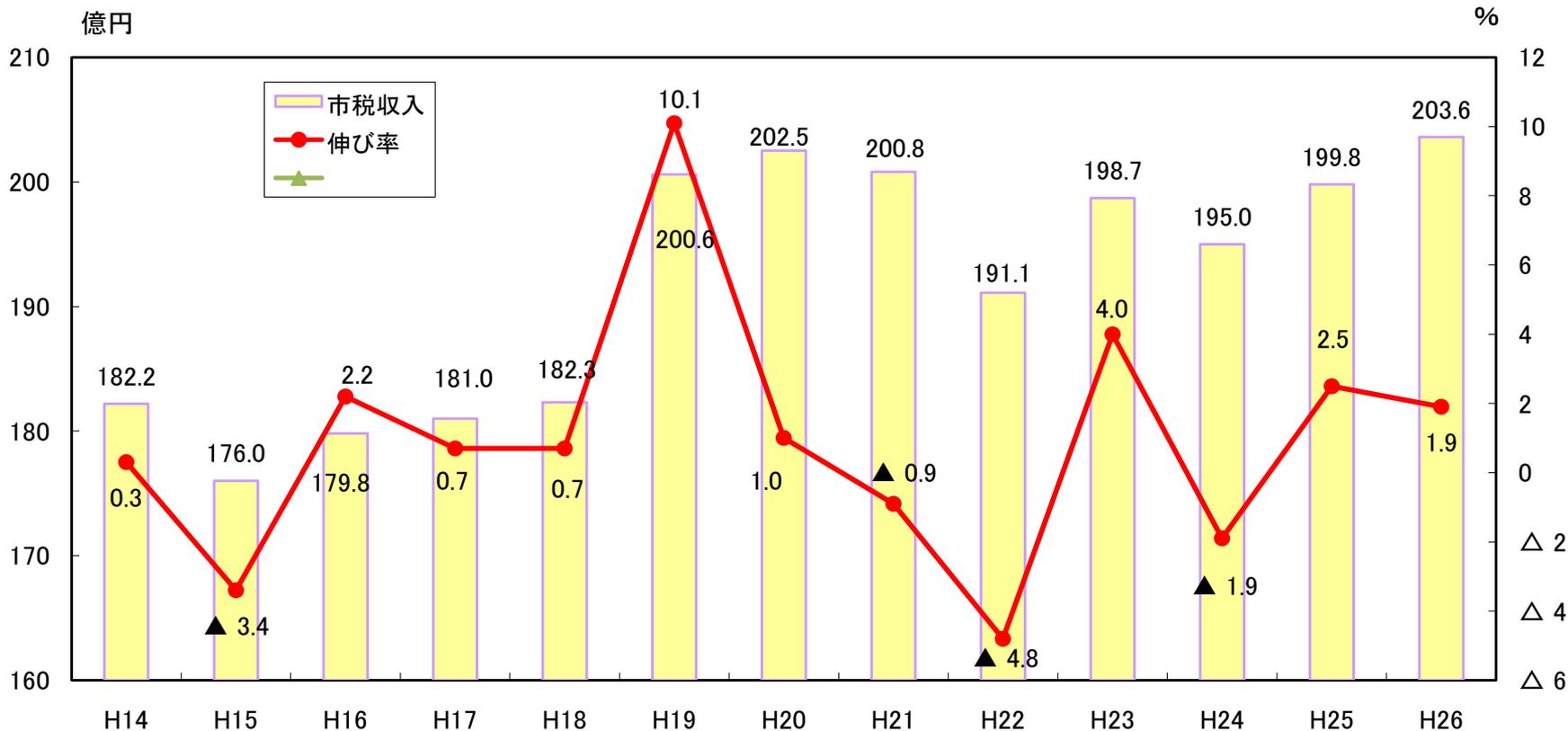
※その他は、円グラフの「その他」と「地方譲与税」を合計した数字です

(4) 市税の推移①

過去最高の
収入見込

※ 増減は対前年度当初予算比較

市税合計	203億6,000万円	+ 3億8,000万円	+ 1.9%
------	-------------	-------------	--------



※ H20以前は岡部町との合算

(4) 市税の推移②

※ 増減は対前年度当初予算比較

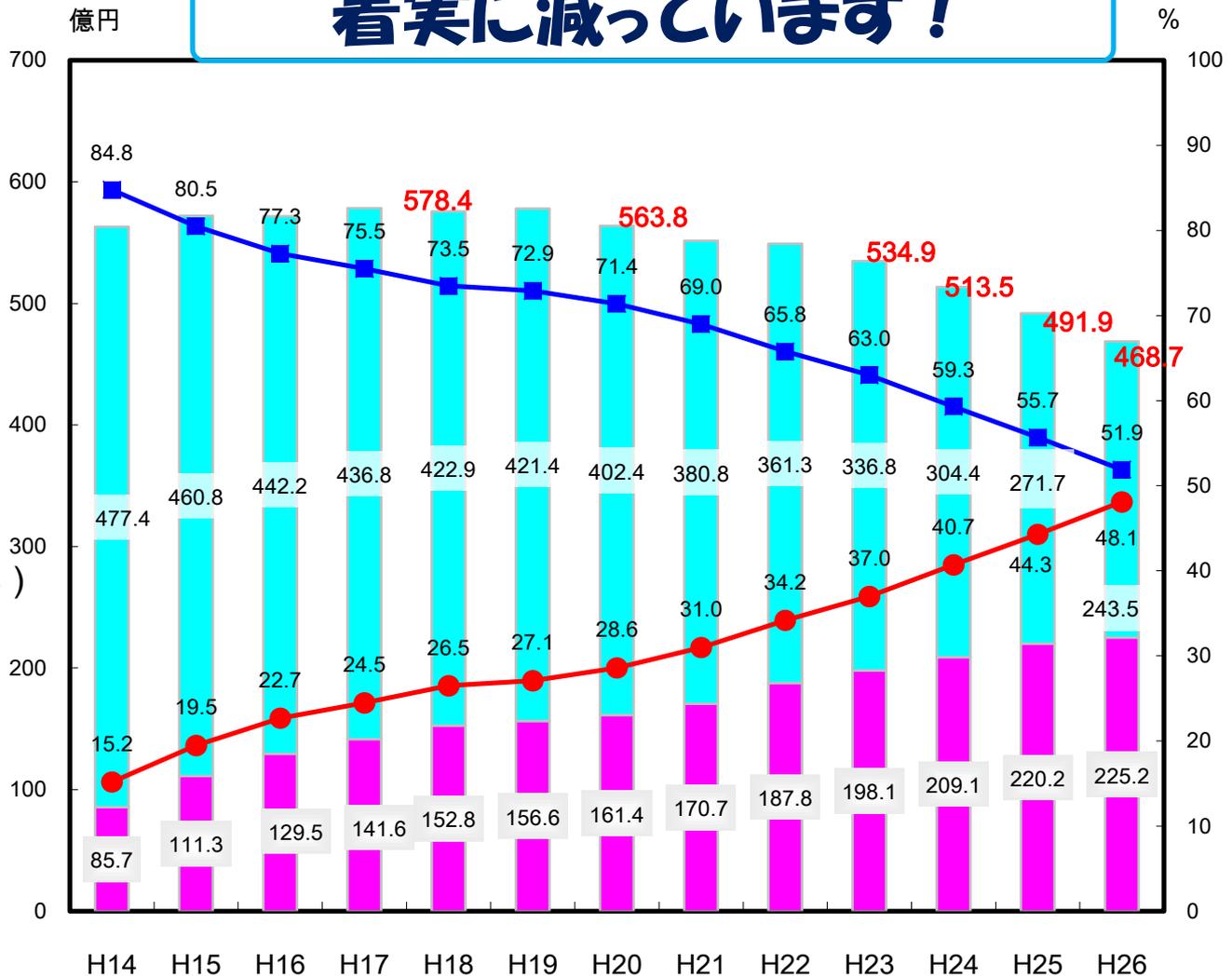
市税合計	203億6,000万円	+ 3億8,000万円	+ 1.9%
個人市民税	76億3,420万円	+1億2,170万円	+ 1.6%
	給与所得者の収入増加による増 防災・減災のための臨時増税による増（均等割） 等		
法人市民税	12億2,150万円	+ 6,960万円	+6.0%
	景気回復による企業収益の増 等		
固定資産税	90億8,270万円	+1億8,470万円	+ 2.1%
	家屋の新築、増築等に伴う増、償却資産の増		
市たばこ税	8億円	▲3,000万円	▲3.6%
	喫煙者の減少に伴う販売減 等		

(5) 市債残高

着実に減っています！

【一般会計の市債残高】

- 建設市債
- 臨時財政対策債等
- 建設市債 (構成比)
- 臨時財政対策債等 (構成比)



※繰越明許費分含む

※臨時財政対策債等 = 国が償還金を全額負担 (= 実質的な地方交付税)

◆各会計別の市債残高

	20年度末 (決算額)	21年度末 (決算額)	22年度末 (決算額)	23年度末 (決算額)	24年度末 (決算額)	25年度末 (見込)	26年度末 (見込)
一般会計	563.8億円	551.5億円	549.1億円	534.9億円	513.5億円	491.9億円	468.7億円
特別会計	228.6億円	228.7億円	225.3億円	221.6億円	217.2億円	212.2億円	209.2億円
企業会計	241.1億円	232.2億円	221.5億円	208.8億円	198.0億円	189.2億円	185.2億円
合計	<u>1,033.5億円</u>	1,012.4億円	995.9億円	965.3億円	928.7億円	893.3億円	<u>863.1億円</u>

市の取組
 ・積極的な繰上償還
 ・経費節減に努めて
 新規借入を抑制

**平成20年度末と比較し、
 全会計合計で約170億円の削減見込み！**

**○総合計画の目標値（平成27年度末）
 全会計の残高 927億円**

**計画より2年前倒しで
 達成確実！**

◆臨時財政対策債等を除く市債残高

	20年度末 (決算額)	21年度末 (決算額)	22年度末 (決算額)	23年度末 (決算額)	24年度末 (決算額)	25年度末 (見込)	26年度末 (見込)
全会計 合計	<u>1,033.5億円</u>	1,012.4億円	995.9億円	965.3億円	928.7億円	893.3億円	<u>863.1億円</u>
臨財債等を 除く合計	<u>872.1億円</u>	841.7億円	808.0億円	767.2億円	719.6億円	673.1億円	<u>637.9億円</u>

○ 償還金を国が全額負担する臨時財政対策債等を除くと、

平成20年度末比、**約235億円の削減**（見込）

◆財政調整基金の残高

	20年度末 (決算額)	21年度末 (決算額)	22年度末 (決算額)	23年度末 (決算額)	24年度末 (決算額)	25年度末 (見込)	26年度末 (見込)
財政調整 基金	<u>32.3億円</u>	31.8億円	31.7億円	49.2億円	52.8億円	68.3億円	<u>68.4億円 以上</u>

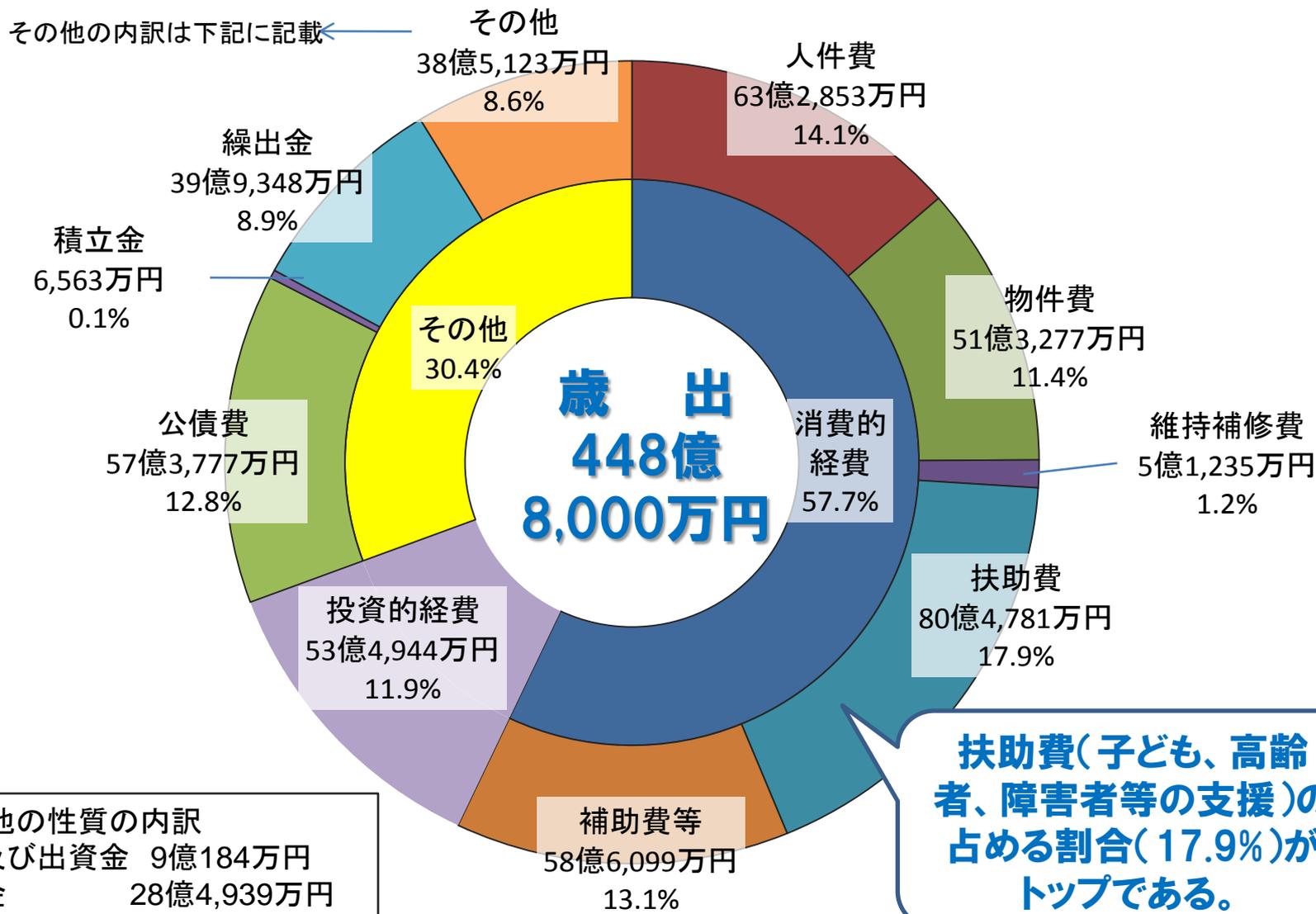
財政調整基金は、市が特定の目的で行う貯金ではなく、景気変動による市税等の増減や不測の事態への備えとしての貯金

平成20年度末から 36億円以上 を積立（見込）

- 緊急的な支出や収入の減少に対応
- 将来のより安定した財政運営の実施

(6) 平成26年度 歳出予算の状況

◆平成26年度 性質別歳出予算



※その他の性質の内訳
 投資及び出資金 9億184万円
 貸付金 28億4,939万円
 予備費 1億円

◆主な歳出予算の増減要因

※ 増減は対前年度当初予算比較

人件費	63億2,853万円	+3億6,006万円	+6.0%
	定年退職者の増による退職金の増 等		
物件費	51億3,277万円	+1億4,889万円	+3.0%
	企業誘致調査、緊急雇用創出事業（人材育成型）の増 等		
扶助費	80億4,781万円	+2億3,658万円	+3.0%
	障害者（児）自立支援事業費、児童措置費の増 等		
補助費等	58億6,099万円	+3,470万円	+0.6%
	三市校務支援システム共同導入負担金の増 市議会議員選挙公営負担金の増 等		
投資的経費	53億4,944万円	▲6,597万円	▲1.2%
	（仮）藤枝東公民館建設、内瀬戸大西町線拡幅工事等の増 市民会館リニューアル工事、認定こども園などの減 等		
繰出金	39億9,348万円	+3億1,605万円	+8.6%
	国民健康保険事業、公共下水道特別会計繰出金の増		
公債費	57億3,777万円	▲9,697万円	▲1.7%
	利子償還金の減		

(7) 繰出金等の状況

会計名	一般会計からの繰出金等	増減（H25比）	増減率
国民健康保険事業	12億1,013万円	+ 1億3,481万円	+ 12.5%
簡易水道事業	2,009万円	+ 13万円	+ 0.7%
公共下水道事業	9億8,022万円	+ 1億 423万円	+ 11.9%
農業集落排水事業	7,742万円	+ 1,162万円	+ 17.7%
介護保険	14億7,480万円	+ 4,723万円	+ 3.3%
後期高齢者医療	2億3,083万円	+ 1,804万円	+ 8.5%
病院事業	20億5,000万円	▲5,000万円	▲2.4%
水道事業	1,052万円	+ 834万円	+382.6%

(8) 各種指標の推計

健全化判断比率は着実に改善

改善の要因は市債残高の減少

◆当初予算額での推計

(単位：%)

項目	H20(決算)	H25	H26	H20との比較	備考
実質公債費比率	15.7	13.8	12.3	▲ 3.4	健全な状態！ (25%以上は早期健全化が必要)
将来負担比率	113.6	76.0	57.3	▲56.3	着実に改善！ (350以上は早期健全化が必要)
経常収支比率	88.9	88.8	88.6	▲ 0.3	全国平均(90.7)よりgood！

○実質公債費比率・・・借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、市のすべての会計と一部事務組合(志太広域事務組合など)が対象となる

○将来負担比率・・・市のすべての会計の借入金や将来払っていく可能性のある負担など、現時点での残高を指標化し、財政への圧迫度を表す

○経常収支比率・・・自治体の財政構造の弾力性を表す比率。人件費、扶助費等の経常経費に市税等の一般財源がどの程度充当されているかを見るもの。

(9) 組織の状況

■平成26年度 藤枝市行政組織機構

26年度戦略方針に基づき、目的・成果志向型で実働的な組織にします！

《主な改正内容》

部など	課など	新たな戦略
健康福祉部	健康推進担当理事	健康・予防日本一に向けて市民の健康づくりを重点的に展開 (部局を越えた横断連携を指揮・監督)
都市建設部	まちづくり担当理事	本市の発展と自立都市経営に向けて総合的なまちづくりを推進 (部局を超えた横断連携を指揮・監督)
環境水道部	上下水道担当理事	安定した市民生活の確保に向けて、環境施設の整備と長寿命化・耐震化を推進 (部長と責任を分担して指揮・監督)
	上水道課【統合】	ライフラインの適正管理と企業経営の安定を図り、効率的に事業を推進
	クリーンセンター推進室【移設】	岡部支所に移設し、支所内の志太広域事務組合と一体となって地元の理解を得ながら事業を推進
市民文化部	サッカーのまちドリームプラン推進室【新設】	伝統あるサッカー文化を起点に、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、健康・交流・産業など幅広く魅力につなげて情報を発信
産業振興部	お茶のまち推進室【新設】	藤枝茶の振興と魅力づくりに取り組み、「全国茶サミット」の開催を契機として積極的に情報を発信

(10) 職員数の状況

■ 予定職員数（新・定員適正化計画による定員管理）

（単位：人）

年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度 （予定）	27年度 （目標）
目 標 数		795	773	759	729	729	728	726	724
実 職 員 数		789	752	742	728	732	726	724	
増 減	単年度	—	▲37	▲10	▲14	4	▲6	▲2	
	累 計	—	▲37	▲47	▲61	▲57	▲63	▲65	

※各年度4月1日現在の職員数（特別職、教育長、消防本部、病院職員、再任用職員を除く）

新・定員適正化計画（H23～H27）に基づく定員管理

【基本的な考え方】

～職員士の士気の高揚と組織の活性化～

- ①経費の最大活用で質の高い市民サービスを提供
- ②メリハリのある業務配分と職員間の業務量の適正化
- ③重点施策の推進体制強化に向けた人事配置
- ④市民にとって真に必要な業務への職員の重点配置
- ⑤“適財適所”の人事配置

職員数削減の目標

計画前(H22)
742人
↓
最終年度(H27)
724人
(▲18人)

2. 重点施策別主要事業・組織



市制60周年記念

こども☆みらい☆輝くまち
For the future, For the children



藤枝市制施行60周年

Fujieda City 60th Anniversary

市制60周年記念事業

◆市制60周年記念事業の目的

- ① 60年を培ってきた先人たちへの感謝と慶賀
- ② 今後の藤枝のさらなる発展へのきっかけ
- ③ シティ・プロモーションの推進
(来訪人口拡大に向けた3世代の来訪促進)

◆市制60周年記念事業のコンセプト

将来につながる60周年

○将来を担う子どものため ○60周年を契機に ○郷土愛を育む

組織】 全庁的な取組の調整・指揮

・ **60周年特命の配置** (市長公室長が兼務)

市制施行60周年記念式典

220万円

開催日:平成26年11月3日 会場:藤枝市民会館

市民特別表彰、子どもたちや姉妹都市の市民によるアトラクション(予定)

こどもみらいプロジェクト

700万円

子どもから大人まで楽しめる科学実験、体操教室、新聞号外づくりなどの体験型イベント

など

【1】安全安心なまちをつくる

(1) 危機管理体制の充実

拡) 消防団車両の購入 1億1,980万円

職員給与削減と地方交付税制度を活用
9台の消防ポンプ自動車の更新計画を前倒しで実施

新) 大井川河川敷防災広場の整備 5,300万円

物資の供給や人的救助活動の拠点として整備
整備面積：1.68ha

新) 災害時の通信手段の確保 868万円

臨時災害放送用FM装置を購入
同報無線放送内容の無料テレホンサービスの開始



○ 志太広域事務組合 11億571万円

- ・高度救助隊の創設
救助工作車や高規格救急自動車、高度救助資機材の購入など
- ・消防救急無線デジタル化事業(H25,26)

(2) 防災・防犯対策の充実

■地震災害への備え

新) 防災ベッド設置費助成 <<制度創設>> 100万円

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅への防災ベッド設置費用への助成
上限20万円

拡) 耐震シェルター設置費助成 300万円

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅への耐震シェルター設置への助成
65歳以上の高齢者のみの世帯 上限25万円→30万円

拡) 家具転倒防止対策費助成 400万円

高齢者世帯等への家具転倒防止対策への助成 (300世帯分)
5,000円/箇所、3箇所まで (H25より制度再利用が可能)

拡) 住宅・建築物耐震改修助成 7,401万円

- 我が家の専門家診断委託 (@45,000円、150件)
- 木造住宅補強工事費助成
 - ・高齢者のみの世帯 (@96,000円→144,000円)
- 木造住宅補強工事費助成
 - ・高齢者割増助成 (20万円→30万円) など

新] 吊り天井の撤去・改修等

1億4,000万円

中学校武道場（岡部中学校を除く9校）の天井の撤去・改修
市所有の10施設（中部給食センターなど）の天井耐震診断

拡] 地区集会所の改修・耐震化工事費助成

2,100万円

新] 耐震補強計画策定を追加（5箇所）

補助率2/3、限度額 木造20万円、非木造 120万円

- 耐震補強工事：内瀬戸公民館 補助率1/3
- 改築工事：時ヶ谷第1町内会館 補助率1/3 など

■ 原子力災害への備え

○原子力災害への対応の充実

50万円

- 広域避難計画、安定ヨウ素剤配布計画策定の準備
- 放射能基礎知識など原子力対応の市民講座の実施
- UPZ圏内の5市2町での勉強会や通信訓練の実施

■風水害への備え

拡】 気象情報受信の本格導入

280万円

本市に特化したリアルタイムな防災気象情報を年間通じて受信
業務委託契約：5ヶ月の試行→12ヶ月の本格導入

拡】 河川浚渫経費の増額

1,000万円

河川の堆積土砂を除去し、浸水被害を軽減
法ノ川、大溝川、大谷川、普通河川、道路側溝、調整池等

■防犯対策の充実

拡】 防犯灯設置助成の充実及びLED化の推進

1,070万円

新】新規防犯灯設置費(LED灯)

(共架)13,000円→15,000円 (ポール設置)23,000円→25,000円

○防犯灯のLED灯切替 補助率1/2、上限10,000円 (継続)

拡】 消費者保護の推進

140万円

持続的な相談体制の一層の充実と強化

新】親子消費(金融)講座の開催(小学校3校、夏休み2回)

新】見守りガイドブックを作成し、自治会、町内会役員等の研修会で活用

『交通安全日本一』への取り組み

(3) 交通安全の推進

拡】交通安全啓発の充実

500万円

○高齢者の運転免許証の返納支援

- ・【新】自主運行バスの無料化（無料乗車券の交付日から1年間）
- ・【新】運転経歴証明書の発行手数料全額助成
- ・住基カード発行手数料：無料

○【新】高校生の意識向上対策

- ・「自転車も止まれ」ステッカーの製作、標識貼付
- ・高校生デザインの「追突防止」マグネットの製作

○自発光式反射材着用の普及促進



拡】ゾーン30交通安全施設整備 **700万円**

制限速度30km/h区域の設定、グリーンベルト標示等
対象地区：青島東小学校区（小石川町、東町）

拡】道路交差点の交通安全施設整備

2,000万円

交通事故多発交差点に交通安全施設整備（10箇所）

新】高校生からの交通危険箇所等の意見を取り入れた交通安全対策の実施

○歩道整備（市道2地区140号線）

8,000万円

県道大井川線と市道本町大東町線を結ぶ主要道路
道路南側の水路を暗渠化して歩道を確保 L=160m

★安全な環境づくりのための基盤整備の充実

- **道路新設改良事業** **2億6,500万円**
 - ・ 地元からの要望による生活道路の整備や交通安全対策の実施

- **河川・水路の改修** **1億7,500万円**
 - ・ 河川・水路の改良による浸水被害の軽減及び地域の環境改善

- **くらしの道緊急修繕** **8,000万円**
 - ・ 市民からの情報提供による道水路の維持、補修の実施

- **土地改良事業（農業の基盤整備）** **6,090万円**
 - ・ 農道や農業用水利施設の基盤整備（国庫補助、県補助、市単独事業）

- **治山事業** **2,900万円**
 - ・ 治山事業の実施による森林の整備・保全・災害防止



【2】まちの“魅力”をつくる

(1) 4Kの推進

■ 健康

組織】市民の健康づくり事業の推進
・ 健康推進担当理事の配置

新]健康寿命延伸都市協議会の総会開催
39万円

「厚生労働省 健康寿命をのばそう！アワード」の受賞自治体による協議会の総会開催
(9月)

60]元気ふじえだツーデー

60キロウォーキング

市制60周年を記念して 300万円
2日間で市内60kmを歩くイベント(10月)



健康

『健康・予防日本一』への取り組み

新)在宅医療と介護の連携推進

100万円

市民向けシンポジウムの開催、啓発リーフレットの作成・全戸配布

拡)こども健康チャレンジ事業

70万円

「こどもチャレンジシート」を作成し、対象児童には従来の5年生に
6年生を追加

○ 成人の風しんワクチン接種費の助成

100万円

予防接種が必要な人の予防接種費用を助成

麻しん風しん混合ワクチン 5,000円

風しんワクチン 4,000円

拡)歯周疾患検診の充実

310万円

歯周病、口腔がんの早期発見・治療

40歳・50歳・60歳に加え、70歳にも受診
の勧奨



★学校教育の充実

拡】特別支援教育の推進 2,621万円

- 特別支援学級の増設 (13校→14校)
- 発達通級指導教室の増設 (2校→3校)
- 中学生に向けた発達指導教室増設
(2校と1施設→4校と1施設)

新】学校国際交流の推進<<若手職員PT提案事業>>

100万円

語学力(英語)強化のため、スカイプを
活用したオーストラリア・ペンリス市と韓国・楊州市の
学校とのライブ交流等



新】やる気・元気・学力アップ事業

300万円

学力アップのため学校と家庭による学力向上
専門家による教師向け研修会、スーパーティーチャアの派遣
藤枝型家庭学習向上プロジェクト会議の設置と保護者の啓発
モデル地区:藤枝中学校区

【拡】学校サポーターズクラブ

312万円

地域全体で学校教育を支える体制づくりの推進

コーディネーター:7人→9人

平成27年度全中学校区配置

【新】校務支援システムの導入

3,500万円

《藤枝、焼津、島田市連携事業》

教員負担を軽減し、児童・生徒と向き合う時間の充実を図る

導入予定ソフト:学籍管理、出欠管理、成績管理、保健管理等

【新】葉梨小学校舎増築の実施設計

1,500万円

葉梨地区の児童急増への対応

鉄骨造2階建 1棟6教室 約700㎡

H27工事着手 H28.4供用開始

【60】スマイルキッズタウン ふじえだ

100万円

子どもたちだけの模擬都市を創り、子どもたちが働き、報酬をもらい、税金を払い、買い物をする体験学習イベントにより、自主性や社会性、創造力を養う。

市民団体「スマイルプロジェクト」が実施

新)学習チャレンジ支援

1,150万円

学習塾形式による生活保護世帯の中学生等への放課後学習支援
週2回(月、水曜日)、18:00~21:00 講師3人

60】プレイパーク調査研究事業

50万円

公園の一部を使って自然の中で自由な遊び(木登り、火起こしなど)を発想、体験する。

市民団体と協働実施。

60】藤枝トップアスリートスクールの開催

100万円

中学生がトップアスリートの実体験を生で聞き、夢や目標に向かって頑張る心を育む
実施種目:サッカー、柔道



★社会教育の充実

『教育日本一』への取り組み

新]地域資源の発信

ゼロ予算

《岡部支所・岡部図書館連携事業》

岡部町商工会・岡部町観光案内ボランティアと連携し、岡部地区にある歴史・街道・文化の資源を動画にしてFaceBookサイトで公開していく。

H26:コンテンツ作成、素材収集、管理体制協議

新](仮称)藤枝東公民館の整備

5億3,850万円

行政センター・子育て・防災機能を有する新公民館

開設時期:平成28年4月 総事業費:12億7,100万円

鉄筋コンクリート造 二階建 延床面積 1,494㎡



新]企画展・特別展(郷土博物館・文学館)

2,551万円

- ・新幹線を生んだまち藤枝(4/13～5/25)
- ・藤枝サッカーミュージアム(6/7～7/13)
- ・青春!日活映画展(7/19～9/15)
- ・和風トリックアート(9/20～11/3)
- ・葛飾北斎の富嶽三十六景(2/13～3/31) など

■環境

『環境日本一』への取り組み

組織】上下水道の長寿命化、耐震化の推進

- **上下水道担当理事の配置**
- **「上水道管理課」と「上水道工務課」を「上水道課」に統合**

組織】クリーンセンター整備等の推進

- **環境水道部長が志太広域事務組合の理事を併任**
- **「クリーンセンター推進室」を志太広域事務組合事務所に移転**

★ごみ減量対策の推進

拡】家庭系生ごみ回収資源化事業

4,200万円

家庭から排出される生ごみの資源化を推進

回収方法:ポリバケツ→ポリ袋

回収世帯:6,000世帯→10,000世帯

回収予定量:年間約750t

拡大地区:兵太夫地区



『環境日本一』への取り組み

★クリーンセンター整備の推進

新】クリーンセンター周辺整備の具体化

300万円

防災機能等、クリーンセンターを活用した周辺土地利用の具体的検討
志太広域事務組合との連携強化による効果的かつ効率的な環境影響評価の実施

★上下水道の長寿命化・耐震化の推進

○ 水道施設・管路等の耐震化の推進

7億5,789万円

水道事業基本計画に基づいた計画的な管路等の老朽化対策・耐震化事業の実施

- ・水道施設耐震診断(子持坂配水池ほか6箇所)
- ・配水管布設替工事(若王子二丁目地内ほか48箇所)L=11,472m
- ・送水管布設替工事(北部幹線ほか2箇所) L=1,190m
- ・導水管布設替工事(青南町3号井ほか5箇所)L=2,155m

○ 下水道の管路等の長寿命化

5,500万円

下水道長寿命化計画に基づいた計画的な維持管理の実施
管路長寿命化計画策定、管路長寿命化実施設計、管路改築・更生工事 等

○ 下水道施設の長寿命化

7億2,120万円

浄化センター長寿命化計画に基づいた計画的な施設の改築・更新事業の実施
水処理機械設備更新工事、水処理電気設備更新工事、送風機設備増設工事 等

『環境日本一』への取り組み

★地球温暖化対策の推進

新】太陽光発電システムの設置 《全額県費補助事業》

自然エネルギー、省エネルギーの推進と避難所機能の強化

高洲小学校：(校舎)太陽光発電20kw 蓄電池15kw

(体育館)LED照明に切り替え

4,200万円

拡】道路照明灯のLED化の推進

JR藤枝駅南北自由通路の照明灯のLED化

水銀灯 65灯、蛍光灯191灯

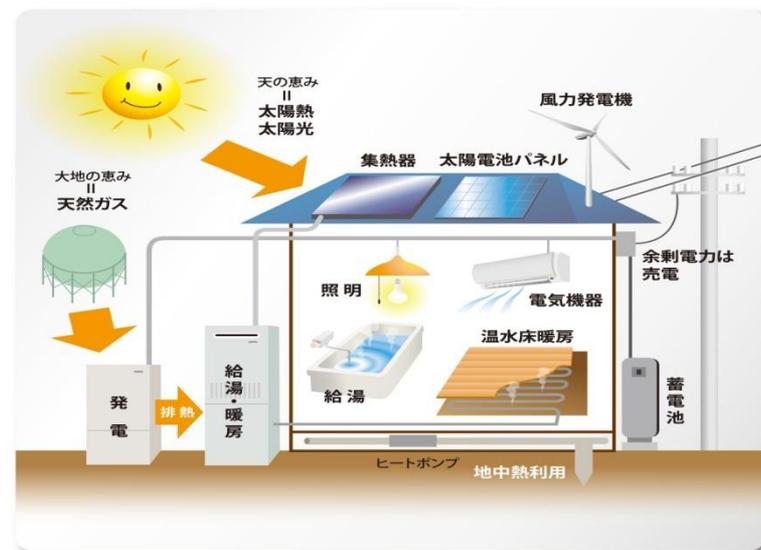
市内道路照明灯のLED照明導入調査

1,400万円

拡】我が家のエコ支援事業 **3,800万円**

新エネ機器等設置費への助成

- ・太陽光発電システム (上限4万円)
- ・太陽熱利用システム (上限5万円)
- ・家庭用燃料電池 (上限10→15万円)
- ・定置用リチウムイオン蓄電池 (上限10万円)



『環境日本一』への取り組み

★環境啓発の推進

新)環境月間県民大会の開催

80万円

環境保全の意識向上のための県民大会を開催
開催日:6月7日(土) 会場:市民ホールおかべ

新) エコマイスターの育成

24万円

環境活動のリーダーとなるエコマイスターの育成講習会の開催
市から認定されたエコマイスターは、環境講座などの講師として環境意識の啓発
育成目標:20人

拡)もったいない運動の推進

270万円

もったいない運動の取り組み実例等を紹介した冊子「チャレンジecoライフ」の発行
ごみ減量説明会や環境講座などの環境学習で活用

○環境フェスタ “もったいない” 開催

210万円

開催時期:5月 / 会場:蓮華寺池ホール
※花と緑のフェスタと同日開催

(2) 子育て支援の充実

★子育て総合支援の充実

新)子ども・子育て支援事業計画の策定

80万円

新たな子育て支援事業計画を策定

計画内容: 幼児期の学校教育・保育、地域の子育て支援施策

計画期間: 5年間(H27~H31)

新)子育て支援サイト <<職員PT提案事業>>

30万円

本市独自の子育てに関する情報を一元的に発信するための子育て支援サイトを構築

拡]地域子育て支援拠点の充実

6,770万円

「出張おやこ広場」を実施する地域子育て支援センターの増設

8か所→9か所

拡]不妊治療への支援

1,500万円

特定不妊治療に加え、一般不妊治療にも助成

(一般)補助対象限度額9万円(補助率7/10 補助上限6万3千円)

拡]発達障害児支援

1,480万円

発達に課題のある児童の早期発見・早期治療の推進

新たに支援員1名を増員、「親塾」のスタート

★待機児童対策の強化

拡】こども園の開設・定員の増加

広幡こども園の開設(定員42名)

青島こども園保育園部の定員増(30名→85名)

拡】保育士確保への支援

2,002万円

保育士の処遇改善を図り、保育士確保に努める保育所、こども園を支援

私立保育所9園、認定こども園2園

拡】家庭的保育の充実

4,500万円

保育ママ 22名→27名

児童数 54名→70名

拡】放課後児童クラブの充実

1億570万円

すこやか第2児童クラブのオープン
(高洲小学区)

市内のクラブ数:19



(3) 安定的な医療の提供

組織】医療従事者、病院職員の資質向上

- ・ **臨床研修センターを教育研修センターに改称し、機能を拡充**

○ **救急センターの完成** **7億4,570万円**

平成27年4月オープンに向けた建築工事
医療機器の整備

鉄骨造3階建 2,280.17㎡ 稼動病床：12床

新)がん治療体制の充実

地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

放射線治療装置(リニアック)の更新

H26・27年度事業 総事業費 6億6,000万円



新)医療提供体制の充実

電子カルテシステムの更新 など

2億7,063万円

○市立総合病院の健全経営

第2次中期経営計画 スタート!

◎経常損益の見込（特別損益を除く）

（単位：千円）

	H24実績 (中期経営計画期間)	H 2 5 予算	H 2 6 予算	前年対比 予算増減
	収益合計	13,414,000	14,145,000	14,583,000
費用合計	13,928,000	14,094,000	14,583,000	489,000
経常損益	▲514,000	51,000	0	▲51,000

中期経営計画(H21~H25)

第2次中期経営画
(H26~H30)

平成30年度の
目指す病院像は、
「質が高く、安心・
安全な医療を
継続して提供する
急性期病院」

- 健全経営の確立
- ・ H25単年度黒字化
- ・ 医療体制の充実

- ・ 急性期病院としての地位の確立
- ・ 質の高いがん医療の提供
- ・ 救急医療体制の確立
- ・ 連携強化とネットワーク化の促進
- ・ 災害時医療の強化

○一般会計から市立病院への支援 20億5,000万円

病院事業会計負担金 11億4,920万円
病院事業会計出資金 9億80万円

(4) 定住促進への取り組み

★地域の活性化支援

○中心市街地の活性化

・暮らしの魅力創造

民間活力を導入して子育て世代に選ばれる
住みよい環境づくりの具体化を図る

600万円

・中心市街地の再開発

駅前1丁目8街区の再開発準備組合への補助
再開発事業：地盤調査、実施設計、権利変換計画策定

9,700万円

○中山間地域の活性化

・デュアルライフの推進

都市住民を対象とした移住・定住促進
相談会、プロモーション活動の実施

50万円

・グリーン・ツーリズムの推進

190万円



新) 田舎暮らしの体験

〈若手職員PT提案事業〉

(40万円)

中山間地域での1泊2日の田舎暮らし体験による魅力発見、定住促進
対象：市外の親子

中山間地域の魅力を発信し、農業体験イベント等を実施する団体へ補助

★障害者福祉の充実

拡】相談支援事業の充実

相談者の相談に応じた福祉サービスの情報提供等
自立支援課内に専任の相談員を配置

982万円

新】障害者通所施設建設への補助

市内水上に建設予定の障害者通所施設への補助

1,000万円

★障害者の自立・社会参加の支援

新】公の施設使用料の無料化制度開始

障害者に「無料パス」を発行し、市内73施設の使用料を免除
指定管理施設の減収に係る負担金

100万円

★公共交通の充実

拡】自主運行バス等の利便性向上

平成25年度のバス路線実態調査の結果に基づき、
路線の検討・協議の実施

再】運転免許証自主返納者に対する自主運行バスの
無料化



★志太広域事務組合

組織】一般廃棄物処理、斎場建設等の推進

- ・理事の配置（藤枝、焼津両市の環境担当部長が併任）
- ・「クリーンセンター推進室」が藤枝市役所から移転

○志太広域事務組合負担金

10億2,855万円

新)新斎場の建設工事着手

現在の葬祭棟と待合室棟の解体、仮設待合室棟の建設

新)クリーンセンター建設に向けた取組

整備基本計画策定、環境影響評価など

新)看護学校の学習環境の向上

看護用シュミレータの購入など

再)消防・救急体制の充実

- ・高度救助隊の創設
- ・消防救急無線デジタル化



(5) 来訪・消費のきっかけづくり

★富士山静岡空港を生かした取組

新)外国人へのおもてなしの強化

205万円

2020年に開催される東京五輪・パラリンピックに向け、海外からの来訪者が増加することが予想されるため、おもてなし力を強化する。

- ・案内標識の多言語標記への改修
- ・外国人観光案内所の運営
- ・国際観光ホテルの誘致に向けた不均一課税の導入（固定資産税1.4%→0.93%）

★広域連携による誘導

新)志太三市連携シティプロモーション事業

500万円

藤枝・焼津・島田の三市連携による来訪人口拡大の事業実施

- ・イルミネーション、情報誌「るるぶ静岡」への特集掲載、イベント共同PR

新)志太三市・一町連携観光事業

25万円

藤枝・焼津・島田・川根本町と連携した広域的な観光プロモーションを実施

広域観光マップの作成、国内外における観光施設・商品の売り込み

新)東海道街道文化創造事業

250万円

東海道の歴史・文化を共有する島田市と連携し、広域型の文化事業を実施

- ・田中城周辺での鷹狩、柏屋での茶会、句会歴史講演会など

★市制施行60周年を記念した取組

- 市施行60周年記念式典の開催 220万円
市政功労者顕彰授与、子どもと友好都市等の市民による祝賀アトラクション
開催日:11月3日 会場:市民会館

- 徳川家康公顕彰400年記念事業 70万円
「藤枝と家康」の講演会 (11月)
「家康が往来した道」ウォーキング(9月)
PK大会「家康公賞」の設定(8月)

- 東海道商店街トレジャーハンティング事業 100万円
親子で参加し、隠された暗号をもとに宝箱を発見し、買い物レシートを付けてクリア。
抽選で、藤枝の特産品をゲット。

- クリスマスコンサートの公演 600万円
公募による子どもたち50名とアーティストのコラボによる記念コンサート
公演日:12月21日(日) 会場:市民会館

- ご当地ナンバーの作成 140万円
原動機付き自転車のご当地ナンバープレートを作成
市民公募でデザインを決定し11月から発行

★地域の魅力向上

拡】岡部宿内野本陣の整備 1億600万円

店舗・休憩棟の新築、
体験棟を展示・研修施設に改修
H27工事予定の実施設計



新】朝日山城歩道整備 630万円

観光客の安全確保のための展望台への
歩道整備 階段工50段、水路工 L=200m

拡】蓮華寺池公園の再整備

全体：プロムナード、駐車場の整備、蓮華寺池ホールの改修など
喫茶施設の民間公募
平成29年4月オープン予定
H26：盛土工、舗装工

3億2,250万円

拡】藤枝総合運動公園の整備

駐車場の整備(46台)、暫定駐車場(120台)

4,000万円

新]まちの広場整備

3,000万円

蓮華寺池公園再整備と連動して周辺広場を整備し、商店街の回遊の向上を図る
三井農林跡地、スルガ銀行跡地の整備

新]観光情報リアル動画発信事業 《市民提案事業》

100万円

ARコードを観光施設看板やパンフレットに掲載し、動画で分かりやすい情報を発信

拡]駅周辺のにぎわい創出 1,350万円

て~しゃばストリート、駅周辺イルミネーション、オープンカフェの開催など



【3】人と人、都市と都市の“つながり”をつくる

(1) 市民活動の促進

新) 市民協働基本指針の改定

150万円

平成19年度策定した「市民活動団体と行政の協働を進めるための基本指針」の見直し
新たな指針に沿った行動計画の策定

拡) ディーセントライフの推進 《緊急雇用創出事業》

100万円

シニア世代が社会との結びつきを維持するための活動支援
農業体験に加え、子育て支援プログラムを通じた社会貢献活動への誘導 ほか

拡) ふれあい体験学習の充実 43万円

寸劇等を通じて、男女共同や人権について学び、
個性や能力を大切にすることを育む
小学生マイジョブ講座(11校→全校17校)、
中学生ふれあい出前講座(7校→全校10校)



(2) 連携、交流の促進

新) 地域課題解決に向けた新たな大学連携

10万円

県、自治体、大学からなるコンソーシアムに参加し、地域課題の解決方法等の調査・研究。大学との連携協定締結

新) 航空写真共同撮影事業

574万円

H27の固定資産税評価替えに向け、焼津市と合同で現況を把握
業務委託料の経費削減にも寄与

60] 友好都市交流記念事業

250万円

オーストラリア・ペンリス市、韓国・楊州市、沖縄県宮古島市文化・芸術記念公演
姉妹都市との周年記念事業に対する国際友好協会への補助

再] 浜岡原子力発電所UPZ圏内の安全対策

(藤枝市、焼津市、島田市、袋井市、磐田市、吉田町、森町)

再] 志太三市連携シティプロモーション事業 (藤枝市、焼津市、島田市)

再] 志太三市・一町連携観光事業 (藤枝市、焼津市、島田市、川根本町)

再] 校務支援システムの導入 (藤枝市、焼津市、島田市)

再] 東海道街道文化創造事業 (藤枝市、島田市)

【4】藤枝の新たな“価値”をつくる

(1) 市内経済の活性化(産業の振興)

組織】本市の基幹産業である茶業の更なる振興
農林課内に「お茶のまち推進室」を配置

■総合的な産業支援

産業振興ビジョンのスタート!

拡】エコノミックガーデニングの推進 <緊急雇用創出事業> **2,370万円**
新たに3人を雇用。個別企業への訪問ヒアリング、起業相談の実施など

拡】藤枝ブランド戦略 **200万円**
首都圏を中心とした販路開拓、情報発信、藤枝ブランドの追加認定
FOODEX JAPAN に出展

拡】農商工連携・6次産業化等の促進 **410万円**
スタートアップ支援、セミナー等開催に加え、新たに事業者、農家などに
食農マネージャーを派遣

■ 農業の振興

新) 農業農村振興ビジョンの策定

100万円

持続可能な農業と農村を目指すための本市の特性を生かした農業振興策
「集約化・効率化」「高品質化・ブランド化」「多面的機能の強化」をキーワード

○ 藤枝茶みらいプランの推進

400万円

瀬戸谷北部地区の不整形かつ急峻な茶園とそれに通じる農道整備により
作業効率と生産性向上を図る

60】“全国茶サミット静岡大会in藤枝”の開催

900万円

全国茶サミット市町村長会議、記念大会、消費拡大イベントの実施

■ 商・工業の振興

新) 中小企業への借入金利子補給

40万円

小規模事業者経営改善資金利子補給を追加
利子補給率 0.5% 期間 借入より1年

○ 企業立地の推進

1億2,690万円

企業立地促進への助成（用地取得と雇用増に対する補助）
設備投資等への助成（建物と償却資産に対する補助）

(2) ポテンシャルの向上

- 組織】** サッカーのまちを核としたまちづくりの推進
- ・ **サッカーのまちドリームプラン推進室を配置**
- 総合的なまちづくりの推進
- ・ **都市建設部に「まちづくり担当理事」を配置**

★サッカーを通じたまちづくり

60) サッカーのまちシンポジウムの開催 200万円

文化として根付いている藤枝のサッカーのこれからのを考える（9月開催）

新) 藤枝総合運動公園多目的広場の人工芝整備
人工芝化の実設計画委託 A=8,000㎡ 500万円

新) 市民グラウンドサッカー場観覧席改修工事
老朽化した観覧席の改修 H26-H27 2,700万円



★緑あふれるまちづくりの推進

新)魅力あるまちなみの創出

350万円

緑豊かで潤いのある歴史的資源を生かした藤枝らしい良好な景観形成を目指す
景観行政団体への移行後、景観計画、緑の基本計画を策定

拡) 公園施設の長寿命化

3,000万円

公園施設長寿命化計画に基づいた計画的な修繕の実施
トイレの改築更新工事

★基盤整備の推進

拡) 主要な道路の整備促進

3億2,020万円

仮宿高田線、天王町仮宿線、三輪立花線、内瀬戸大西町線

再) 生活道路等の基盤整備の推進

地元からの要望による交通安全、危機管理の整備
市民等からの情報提供による道水路の維持補修

★2020東京五輪・パラリンピックに向けた取組

組織】 市長をトップとした全庁的な取組の推進
・「2020東京五輪・パラリンピック推進本部」の設置

■オリンピック合宿の誘致

新)ライフル射撃場の設備更新 1,800万円

国際大会開催に向け、「スポーツ・パル高根の郷」の射撃場標的システムの電子化
10m射場光学電子標的システム 13セット

再] 総合運動公園多目的広場の人工芝化

■人材の育成

新)国際経験豊富な人材の活用 8万円

JICA国際協力事業経験者等を講師に招き、国際意識を高めるきっかけづくり

再] スカイプを活用した海外とのライブ交流による語学力向上

再] 「藤枝トップアスリートスクール」の開催

■おもてなしの強化

新] 茶文化の普及、藤枝茶のPR強化

160万円

藤枝ジュニアお茶博士の育成

再] スカイプを活用した海外とのライブ交流の実施

再] 国内外からの来訪者に対応した案内標識の充実

再] 障害者の公共施設利用の無料化

再] 外国人観光案内所の運営

再] 国際観光ホテルの誘致



(3) 市役所組織内の「質」の向上

【拡】職員の育成 ～日本一の職員を目指して～

- ・職員が職員を育てる「藤枝型職員養成体制」の構築及び推進
- ・階層別研修の強化

	事業内容
「職員修練道場」の開催	部長級の職員が自らの職務を通して培った知識及び経験等について講義
「職員寺子屋」の開催	専門的知識を有する職員が実務の知識を伝授 講師自身のプレゼンテーション能力向上を図る
「OJT研修」の開催	管理監督者等を対象にOJT研修を実施 各職場で計画的、戦略的なOJTを推進
「職員の自主的派遣研修」等の支援	国内外先進都市の行政手法等の視察の支援 専門研修及びスキルアップ研修の支援
階層別研修 等	採用3年目研修、主任主査2年目研修 等

新 | 公共施設への新電力導入

経費削減のため、中部・西部・北部給食センターの電力調達を新電力に変更
 期間：平成26年4月1日～平成29年3月31日
 年間170万円程度の経費削減

(4) 市民政策・若手PT提案を取り入れた事業

“市政1改善提案”制度に応募した市民政策提案と市役所若手職員PTの提案の中から予算化したもの

市民政策提案事業

事業名	内容	予算額
観光情報リアル動画発信事業 【最優秀賞】	【26年度新規事業】 ARコードを観光施設看板や観光パンフレット等に掲載し、動画で分かりやすい情報を発信	100万円
図書館・学校図書連絡会 【優秀賞①】	25年度に立ち上げの準備期間とし、26年度からは、定例化を図り、新書情報や調べ学習等の互いの有益な情報交換の場としていく	ゼロ予算
みまもりウォーカー 【優秀賞②】	より多くの市民に参加をしていただくため、2月の広報で募集を行います。	25年度の既定予算で対応

若手職員プロジェクトチーム提案事業

事業名	内容	予算額
学校国際交流の推進	スカイプを活用したオーストラリア・ペンリス市と韓国・楊州市の学校とのライブ交流による語学力の向上	100万円
田舎暮らしの体験	市外の親子を対象に、1泊2日の中山間地域での田舎暮らしの体験による定住促進	40万円

(5) 行政サービス評価委員会の指摘・提言の反映

毎年度、施策・事業を検証・評価し、次年度の予算や組織に反映

＜H25年度のテーマ＞ 戦略的なシティ・プロモーションの展開

＜提言＞

- ・ 都市間競争の時代に「売り」を鮮明にした積極発信
- ・ 定住拡大に向けたターゲットの絞り込み
- ・ 情報の受け手に分かりやすい藤枝ブランドの発信

＜反映＞

- ・ シティ・プロモーションの推進 160万円
 4K(健康・教育・環境・危機管理)を中心とした先進的な取り組みや藤枝の魅力の発信
- ・ 定住人口の拡大推進 90万円
 子育て世代をターゲットに、住みよいまちづくりを進め、積極的に情報を発信
- ・ 藤枝ブランド戦略の推進 200万円
 1次産業から6次産業まで取り込んで新たな価値(藤枝ブランド)を創造・発信
 (組織) 藤枝の個性と魅力を内外に発信する
 「サッカーのまちドリームプラン推進室」と「お茶のまち推進室」を設置

3. 本年度予算編成の取り組み



(1) 部別包括予算及びインセンティブ予算制度の活用

経常経費等について全ての部局が、新規事業等を含め優先順位をつけて部局内で調整し、配当枠の範囲内で要求

各部局の権限で効果的な予算配分が可能

対象経費：経常経費、維持補修費、普通建設事業費（市単独）の指定事業

該当事業のH25 一般財源額(A)	H26枠配当額 (一般財源)	H26要求額 (一般財源) (B)	削減額 (A) - (B)
44億1,614万円	43億2,779万円	43億671万円	1億943万円

○配当枠予算は平成25年度一般財源の98%を配当

捻出された約1億1,000万円を戦略事業とインセンティブ予算の財源として活用！

平成25年度中の各部局の創意工夫の努力に対する評価の結果に応じて、一定の財源を優先的に付与する「インセンティブ予算制度」を実施。各部局の平成26年度の新規事業、事業拡充の財源として活用。

(2) 全事業総点検の予算への反映

1) 総点検結果の概要

$$[H25事業数984] + [新規事業118] - [廃止・完了事業85] = [H26事業数1,017]$$

年度別事業数		26年度からの見直しの状況						
		拡大	継続	縮小	統合 (新規)	新規	廃止 (統合含む)	完了
H26	1,017							
H25	984							
H24	1,002							
H23	1,013	40	733	4	10	108	25	60
H22	1,039							
H21	1,154							
(H26-H21)	▲137					(+118事業)	(-85事業)	

市政60周年記念事業や戦略的事業の実施

← H21年度との事業数の差

【総点検シート活用】
事業の見直しや整理統合による財源確保に最大限の努力

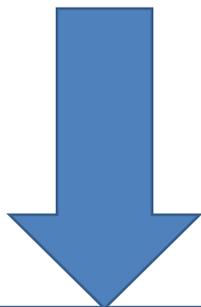
部別包括予算制度による部局内調整機能の強化

スクラップ&ビルドによる効率的・戦略的な新規事業の展開

(3) 消費税税率引き上げへの対応

・使用料・・・ 実際に支出している費用に消費税増税分を上乗せ

※指定管理施設は利用料金制を採用しているため、
その範囲内で料金設定



**使用料の平均改正率
2.61%
40条例の改正**



・手数料・・・ 原則非課税のため転嫁はしない

(4) 平成25年度国の一般会計補正予算への対応

消費税率の引き上げに伴う

低所得者及び子育て世帯への臨時給付

★臨時福祉給付金(簡素な給付措置)支給事業

対象者1人につき1万円+(加算額5千円)

★子育て世帯臨時特例給付金支給事業

対象児童1人につき1万円

平成26年度一般会計の1号補正



Fin